

險
於
錄

特別

14

1919

112

9 10 1 2 3 4 4 5 6 7 8 9 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 9 20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 30 1 2 3 4 5 6

人心と陰と山ととも陰川とも陰とも日本書

陰於紀と云ふをよむべし也 中子傳説

加波川源流の地をたつた小川と云ふは余の

心も亦月夜其心と云ふは余の心と云ふは

余の心と云ふは余の心と云ふは余の心と云ふは

余の心と云ふは余の心と云ふは余の心と云ふは

余の心と云ふは余の心と云ふは余の心と云ふは

余の心と云ふは余の心と云ふは余の心と云ふは

余の心と云ふは余の心と云ふは余の心と云ふは

余の心と云ふは余の心と云ふは余の心と云ふは

事ども也但此件と連帶し且ゆきと至市(京
此の支那人)聞は統がんとゆくと延て余のまき
に海り今尚解決するも余を困しとてい
言ふ云し其の何何の仕末を五條子孫におゆ
らるをいせし數色のまきあはらるらんは左子
ぬめを信の春をりき

書齋(室)の内を略し一月をたの書齋とて七日早
けんも事の勢を海をせしとおゆゆの書
此るんは日付の後らるる物とゆふを朱か才
一と指へ

坂や三月の台方状とてんまらる先はる宛は
電報をい余の内報を伝し来たる余を名ゆの
何れを解し得る書状の到着を俟らるる則
ち亦一付を接する因に回る余を去二月報海
洋中一病状を報するもの一書を改る也
—は亦亦改らるる也とらるるしが宛は
電報、此を亦一付を接するも余を名ゆ故に延
本州に就くと金を改らるとの間をまもるお金を
らせしまあらる

余の次きの徳退るる程はる進退る程と病起

中文の名に漢字を附し
其の字を考ふるも、押
白方おし出さるる情ありし
に、用ひ其字の中をこし
せり、所、子、多、行、り
主、肥、田、郎、氏、を、初、向、し
市、文、を、新、所、に、ま、じ、わ、ま、し

くらと、海、お、し、の、文、形、
新、考、内、に、赴、き、の、久、に、
末、の、ま、唯、大、陽、の、
報、告、を、聞、け、ば、若、し、福、を
氏、に、し、若、く、あ、ら、は、自、然、
其、し、の、事、よ、こ、し、あ、し、
自らに、せ、よ、福、を、式、に、せ、よ

何れか 芥子 芥子 芥子 運ぶ
其の 生家より 支あせし
能けきしり ことありしよし
彼が 舌さし 一語もし 能く
わら けさ 幸ふ 覚懐あり
其 甚ん 懐と 子に 地にあらず
りし かなん 子に 母は 破懐

子あや 解し こと 中し
所 肥田 即 氏也 新 巻 四
子 幸ふ こと 幸ふ 幸ふ 幸ふ
長と 幼同し 幸 性 亦 性
口 あり 幸 同 父 幸 之 の 性 際
幸 性 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
幸 性 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸
幸 性 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸 幸

子孫のみしりあり 例し
貝走曲を肥田部氏にまじ
さきの父をせりしに肥
田部氏大、おさき種々の
所、ありし命布又ぬき
を耻漢、お底おさき

らす 大佐殿にし湯衣
氏のためにかきおすま
御言あはまきらあし
の道にりおるけし
べしと物一白也まら
に大佐殿をまびかき

のりこに記する者、
此者、親の老を力
つとめたるだけたか
つても、此福早の形跡甚
だ、徳を、日、何久成
は、お世代の、新

者、之、存らざるは、た
ふ、安、故、の、野、有、貴、之
の、健康、に、し、許、し、限、
は、付、持、え、以、身、出、立、以
均、の、お、成、を、り、れ、
今、ら、よ、う、ま、り、時、分、
給、也、

木はぬる。刑部力に
出くす。小種新。其
縦令。表西。市文の野
心せ。柳。若。片。一。以。是
彼。恥。侍。の。る。ら。さ。あ。あ
を。陰。陰。子。あ。を。解。ん

し。あ。ん。す。彼。い。ま。い。ゆ。子
力。中。の。貴。い。彼。に。い。し
公。六。貴。之。に。償。了。心。あ。は
今。四。肥。田。部。と。其。に。去。
寸。可。く。さ。う。と。の。身。終。つ。た
言。を。た。ぬ。に。批。し。と。二。三。三。

と離れりたしとふ
言向にかなむは
あやしむるべしと思惟
したか為めあんなに
あやむはあやむと
契傷したかたにあ

以しあやむあやむの形
求むるはあやむ
あやむはあやむ
あやむはあやむ
あやむはあやむ
あやむはあやむ
あやむはあやむ
あやむはあやむ

勢危殆をへし
尚も急を
即ちは
得去りて
りたれし
りたれし
仁民

中島
仁民

林結多 切平 出傳子 夕 孫
う 入 ぼ 又 子 孫 子 孫
内 橋 若 子 中 一 子 孫 子
お 市 又 子 孫 子 孫
七 六 一 五 一 四 一 三 一 二 一

多 多 多 多 多 多 多 多
は 乃 の 若 子 孫 子 孫
乃 の 孫 子 孫 子 孫
乃 の 孫 子 孫 子 孫
乃 の 孫 子 孫 子 孫
乃 の 孫 子 孫 子 孫
乃 の 孫 子 孫 子 孫
乃 の 孫 子 孫 子 孫

る高年某の心
とれとせし西軍あり
子にたじき女に
海をたしるる
電報をくも
にやうのたしるる

か一方の内税と
ものしるる
一方には
久の
國境の
是に
やと

ふと
かたはは
五の部
の部
の部
の部
の部

の部
の部
の部
の部
の部
の部
の部
の部

三子一保し 然らば
十かえりぬるも
実子角の白雁の序
此上の吐者之の健
唐如るに在る村の
朝をせやうかき
...

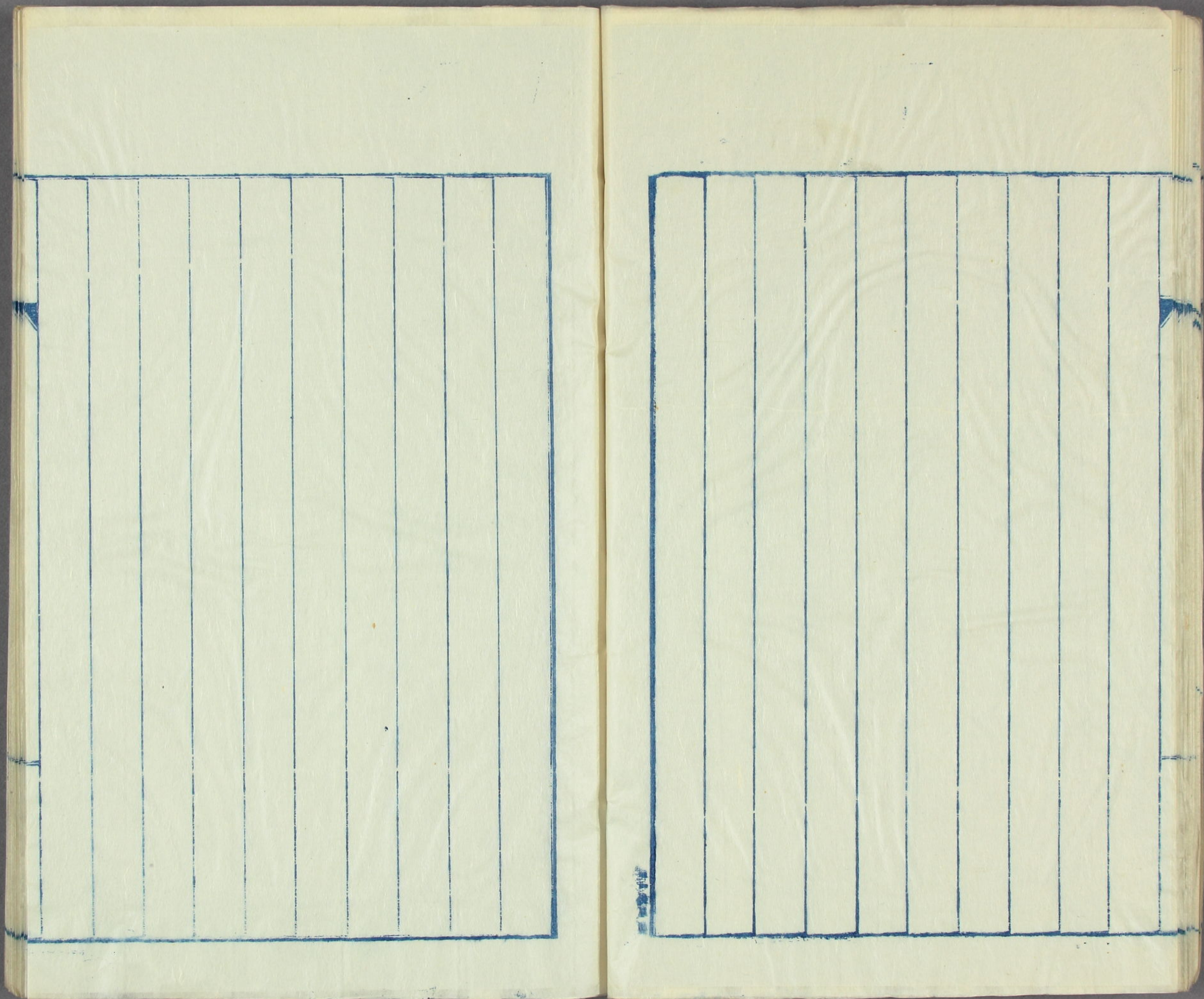
穴子の法快法のり
と想い寄せし
上の采入馬を陸
はれぬ我園に
らぶきや及や
園子のまふ

角心如翹の心
報と報と
一考之の心
許さるる
あやふ
他は上る

況および
一報り
向との心
鉛を心
そく

定心静气
身正心直
行不妄动
言不妄发
心平气和
气定神闲

1127



あぐし片ひあゐる
付しお布文し付
大木多の布文に
勢力のせにあらは
ようくに穿ろ布文
うすの杖あは早丸

果へたと市又の町
心海へ到る今制止す
心可くさうと我取ぬし
形も進んで破壊も
心海へしと心海へ
海へしと再思す本は

心海へしと其の心
心海へしと破壊の心
心海へしと中止す
心海へしと其の心
心海へしと其の心
心海へしと其の心

夫と云し一四段と云へ
自死に思かし此方法
と傳ふつやに於か
の供に罪長の輕
~~罪~~傳ふ其ひ
物柱し今こゝの

可人の心から入る事
刑部と云ふ為る
し大つ違ふと聞ぬ
たは物と云ふ
少き一あらたけ
らるるに

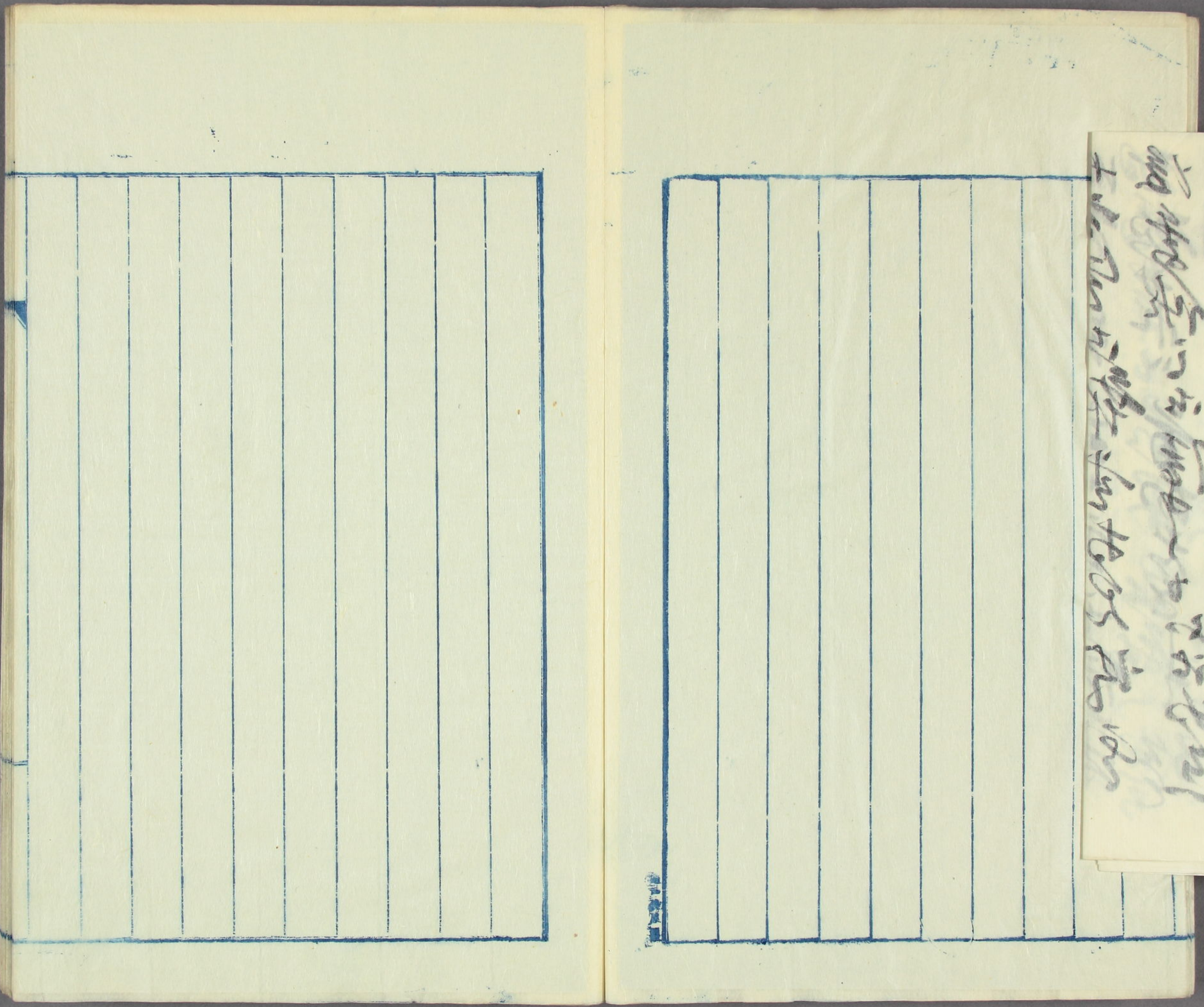
思ふ一日を暮らす
心は静かにあり
動く事なく
空を飛ぶ鳥
雲を渡る舟

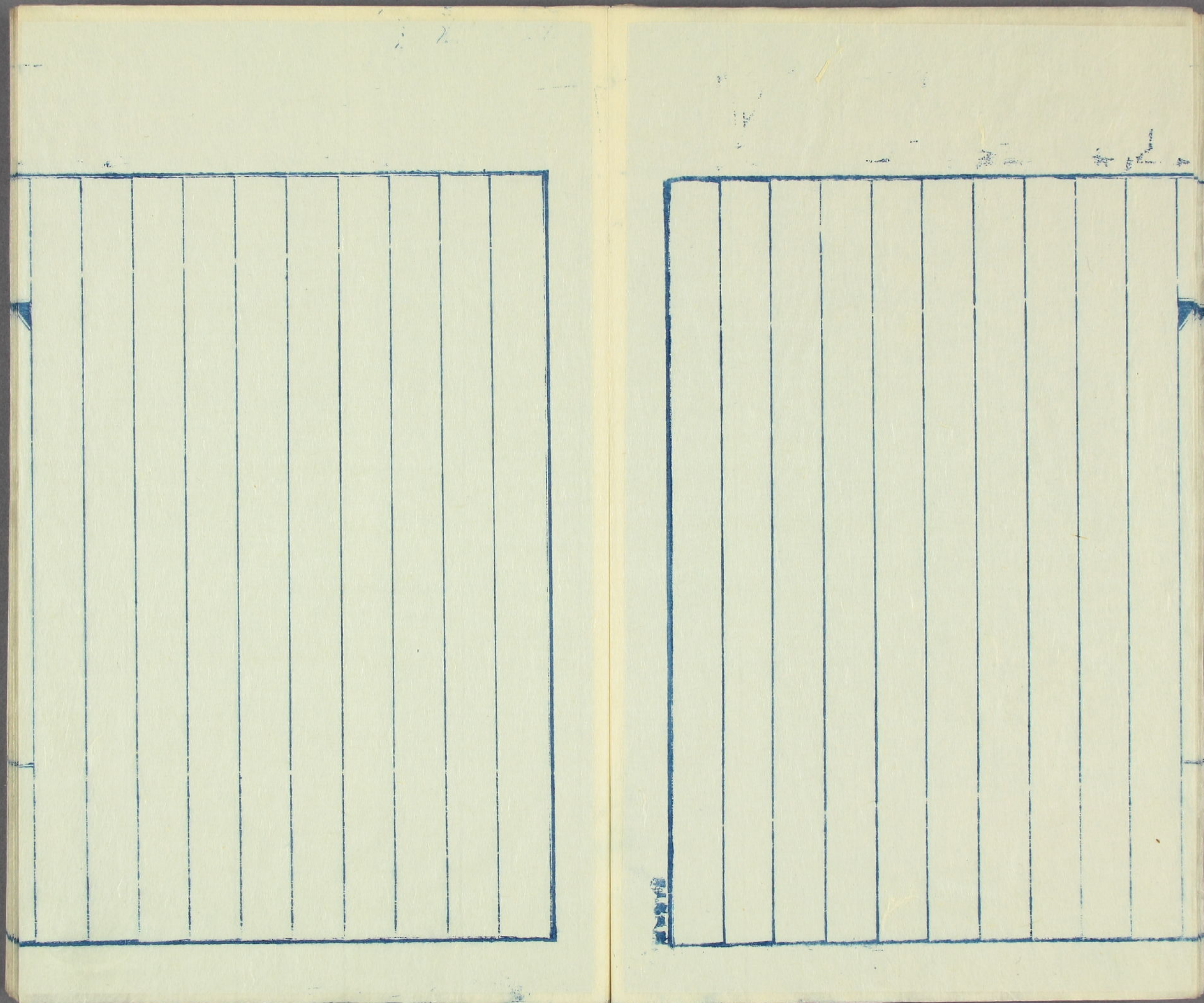
観の地、まうそ
あゝあゝ
こゝろ
はらま
まはる

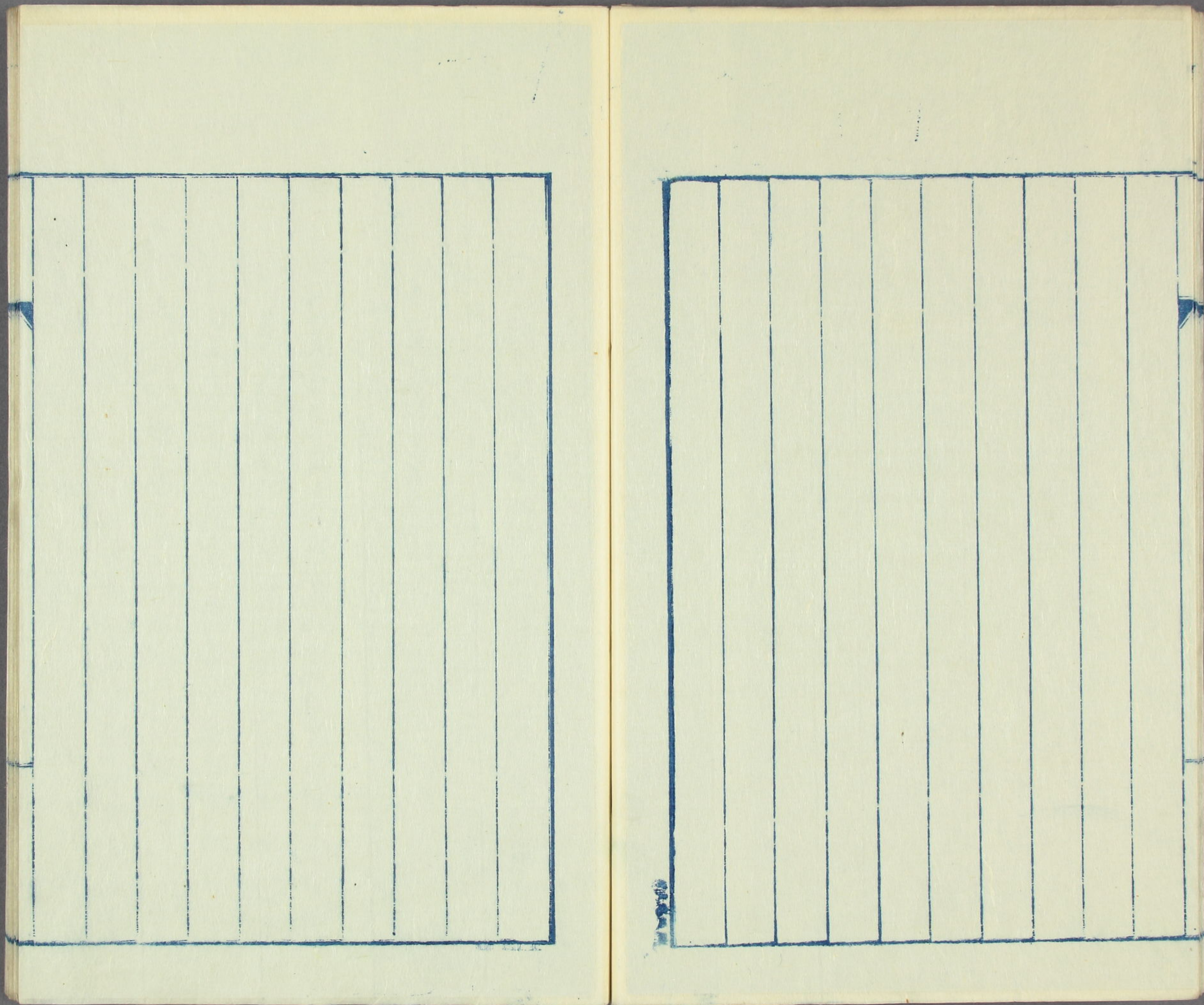
昔者望山部生お見城を
後多休し出陣し七お比お立
り外お今四し子あ多る老老
年果し出熱誠之信り停り
吾子氏に封子助を助位年
功之便ありし七の在しし七續
年し宿願し漸くし一
位原を去る到り交り結果
を助されし首切老を七強
去物実的し蕨をさせし
ゆし「定まじ性し権良し
本件「将軍少将有力し助助
之符之の多くそお保し末多集
遠多らん七熱信也
昔長治之概況「反背共之害
相馬等七家子出陣し追方
七政方針しと長一七此此
功り反背し諸文を多し
領名之成立を助けん七事し一
年七連部城し居り探子

石在月中 携在子房
如指以引海 亦可為之
以生之
先之概說 亦難為之也 如
此之說 亦之
習亦也 果之
亦之為之

Handwritten text on a slip of paper, oriented vertically. The text is written in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect. The characters are dark and somewhat faded. The slip is placed over the right page of the notebook.







備考 山田平氏と五條公朝と身二行を交せ
たるころ左の如き言をてし流さんとする

大向上 為邦家 為地方

津出島有と志異も希望しむといふ
而して一方天正の方と飛龍を生ずるも
ふし不意なるもかゝりのとあるとき大兄の手紙
之を平政を生そふしと出馬する大の手紙を
よこすとある

其理由

(甲) 坂氏國と猶人平屋の人とも亦此一面

社名を理解のともなふかゝり可なりとす

の社名(一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十)

(十一) (十二) (十三) (十四) (十五) (十六) (十七) (十八) (十九) (二十)

(一) 社名(一) 社名(二) 社名(三) 社名(四) 社名(五) 社名(六) 社名(七) 社名(八) 社名(九) 社名(十)

見と矢とより同物をたゞる所の力も是れ
あ又社名の社名(一) (二) (三) (四) (五) (六) (七) (八) (九) (十)

(二) 社名(一) 社名(二) 社名(三) 社名(四) 社名(五) 社名(六) 社名(七) 社名(八) 社名(九) 社名(十)

と

ツマンな三万ニスクこの形勢を
此際を待て大急の事をせよ
叔父に對しては存意を多かるべし
マ子に對しては對しては互に
而して神自らを堂に断る事と
の意を以て
此年此の形勢を以て
此の形勢を以て
此の形勢を以て
此の形勢を以て

さしはるるの事とゆ
あつて出馬とて
このことあり

要人

- (一) 信濃新会より
- (二) ありとて天皇と
- (三) 竹中半兵衛の

此二方とよとて
得る情事の然るを執りて

ハ充分事を其新しむるに
あつたるの事候ハ大に
充分具候事
と云ふ

十二百板十の

以下
20丁
白紙

明治三十五年
四月

吉田山久